

令和6年8月20日(火)

入学式・オリエンテーション

栗東市危機管理センターで入学式と  
オリエンテーションが執り行われました



第8期生28名の学生が入学しました。

栗東100歳大学では、基礎講座と選択コースを1年間かけて学びます。

仲間と絆を深めながら、人生100年時代を健康で豊かに生きる方法を学ん

でいきます。

第1回 8月22日(木)

講師 龍谷大学 教授

総論 『栗東100歳大学で学ぶということ』

## 関心・問いを持つことから始めよう

<講師が関心をもっておられること>

### (1)特殊詐欺

滋賀県の被害額 4億円 (自分から被害を訴えている人の被害額)

⇒被害を訴えていない人はもっといるので被害額は膨大。

向こうからくるものは「怖い」 向こうから来るものは「断る」

「悪徳商法はうそつき！」

㊟まいはなしはない。㊦うだんする。㊧られて契約しない。㊨っぱり断る。

### (2)2040年問題

現役世代が激減する。2023年時点で政府の推計より12年早い統計となっている。

### (3)介護保険

訪問介護事業所が少なくなっている。

### (4)国民健康保険

今は自治体ごとに保険料が設定しているが、2030年度には県内完全統一の方向になる。滞納者が増えている。

受講生に対しては、これから様々な講義を学んでいく中で、関心や疑問を持ち今後どうなっていくのか考えることが重要であると話されました。

## 講義の様子



講師の話聞いて、お隣同士や前後の人とグループワークを行いました。

第2回 8月29日(木)

講師 市職員

『8期生の交流会』



受講生同士の交流を深めるゲームを行いました。1つ目のアイスブレイキングとして、堅苦しい雰囲気を打ち破るため、皆でじゃんけんウェーブをしました。じゃんけんに負けたチームが勝ったチームに連なっていくというゲームです。最初はぎこちない雰囲気もありましたが段々盛り上がり最後には和やかに話せるようになっていました。



2つ目のアイスブレイキングでは、2人1組となり、各自が紙を6つに切り、2人分を1つにまとめて、相手チームと交換します。どちらのチームが早く元の紙の形にできるかというゲームを実施しました。単純に切った紙のほうが難しく苦戦しているチームがありました。なかなか復元できないチームでは相手チームも一緒になって復元に取り組む姿があり、とても良い雰囲気になりました。次の課題にも取り組みやすくなりました。

各グループで、自己紹介カードを使って自己紹介を行いました。その後、「**栗東100歳大学に期待すること**」について話し合いました。

<受講生からの意見>

- ・退職や介護が落ち着き、自分を見つめ直し、今後の生き方、目標を見つけたい。そのために、病気の予防、新たな趣味の開発・発見、交流を通してお互いの情報共有、利他的行動やボランティアなど学びたい。
- ・学びを深め、仲間づくりをしたい。
- ・マンネリにならないような講座の工夫、SNSの講座を増やしてほしい、趣味につながる内容を入れて欲しい
- ・これまでにない経験をしたい
- ・参加者の経験から得た知識を学びたい

など、100歳大学に期待する声を聞き、受講生の期待の声に応えていきたいと思いました。

